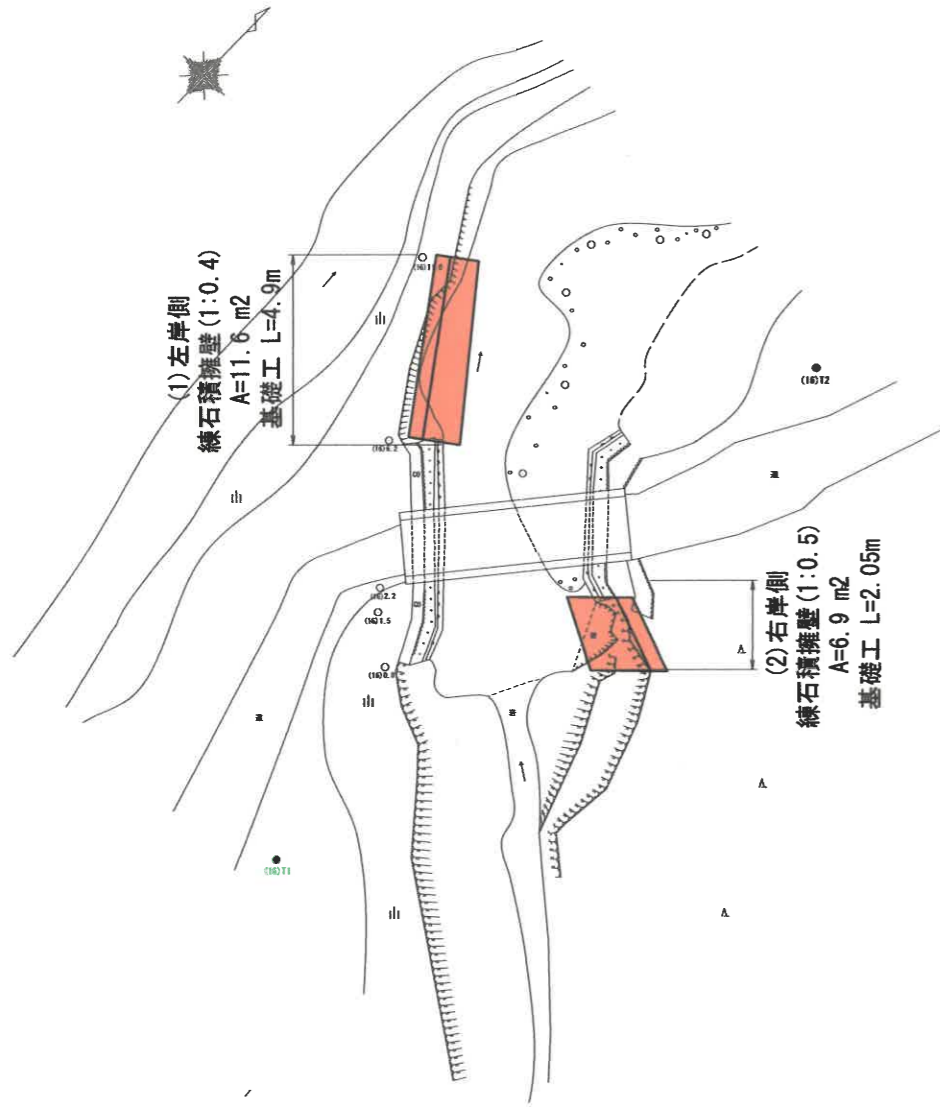


⑩和田川の歴史の道13号橋

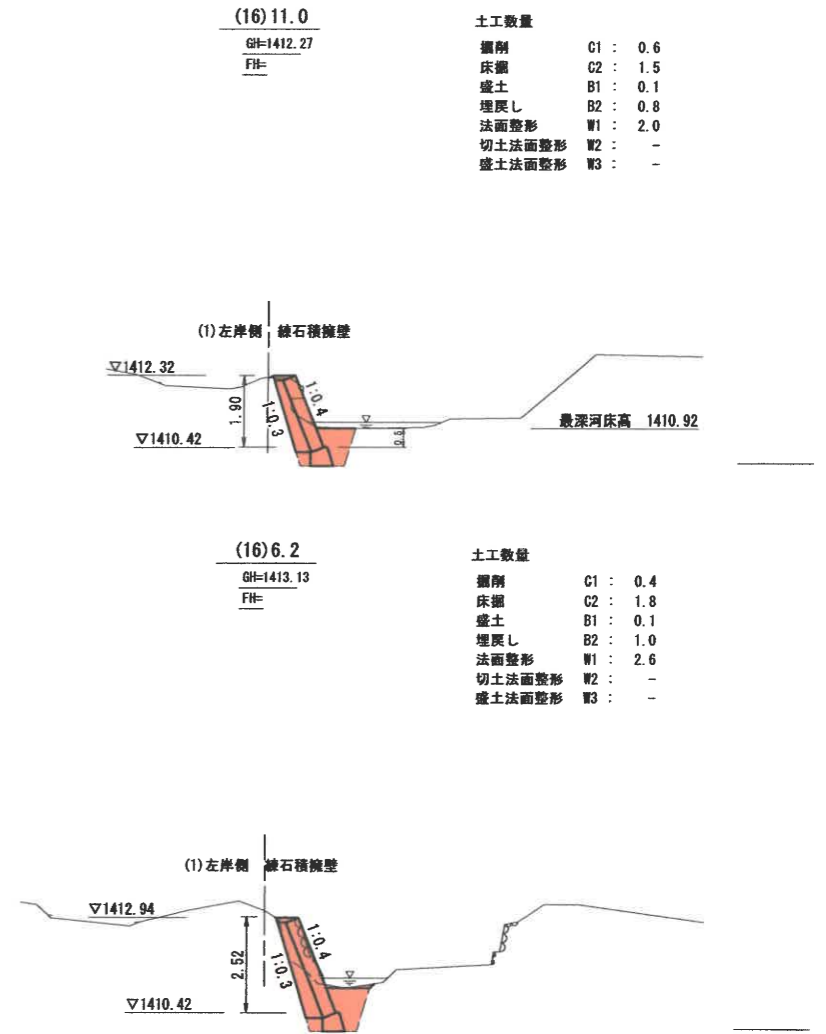
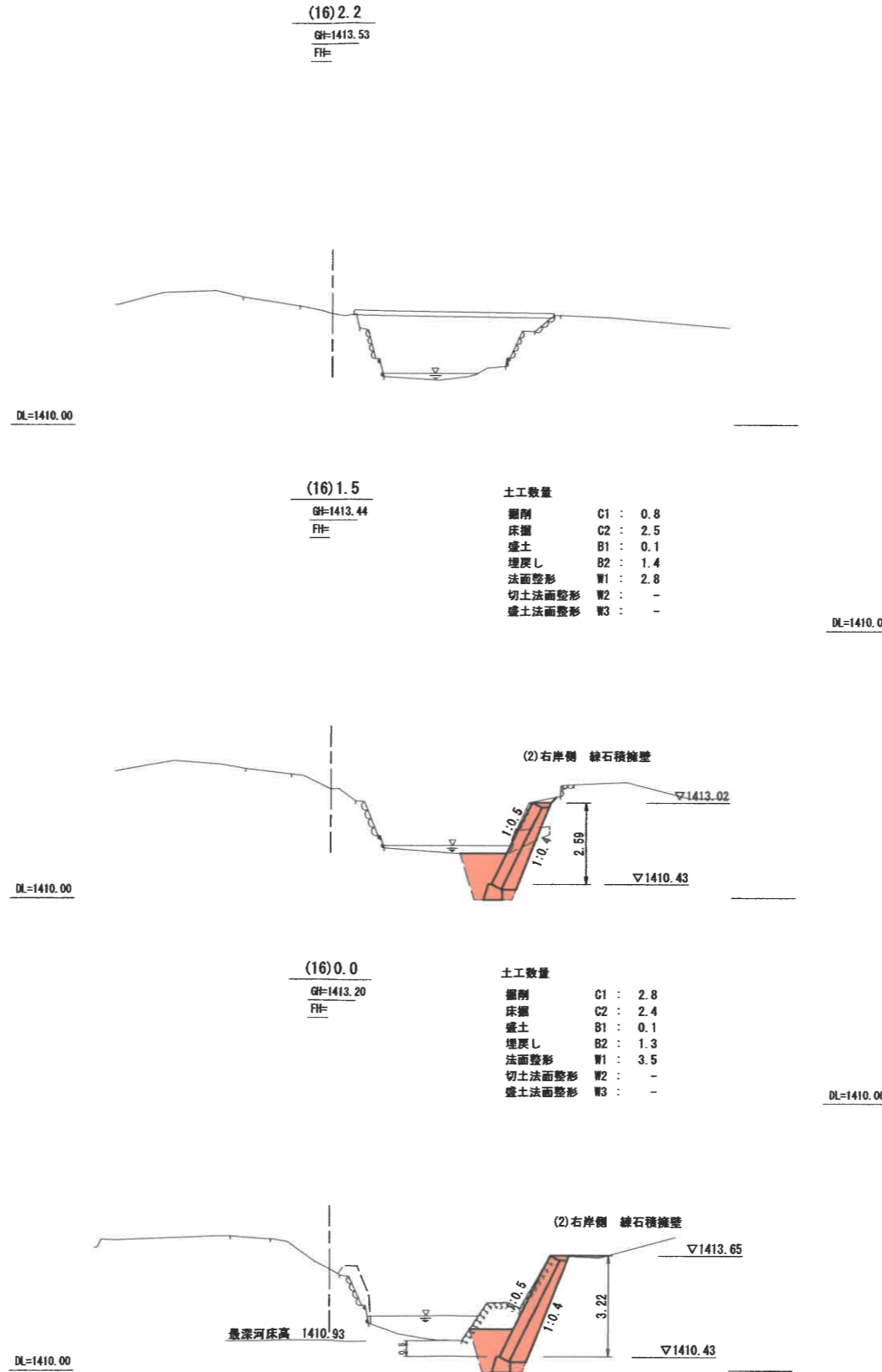
平面図 S=1:100

横断面 S=1/100



基準点座標

点名	X座標	Y座標	標高	備考
(16)11	17392.373	-31518.327	1415.00	
(16)12	17411.660	-31517.077	1413.13	
(16)0.0	17398.063	-31519.901	1413.37	
(16)1.5	17399.965	-31520.534	1413.62	
(16)2.2	17399.468	-31521.366	1413.70	
(16)6.2	17402.446	-31523.912	1413.33	
(16)11.0	17406.558	-31526.616	1412.44	



実施図

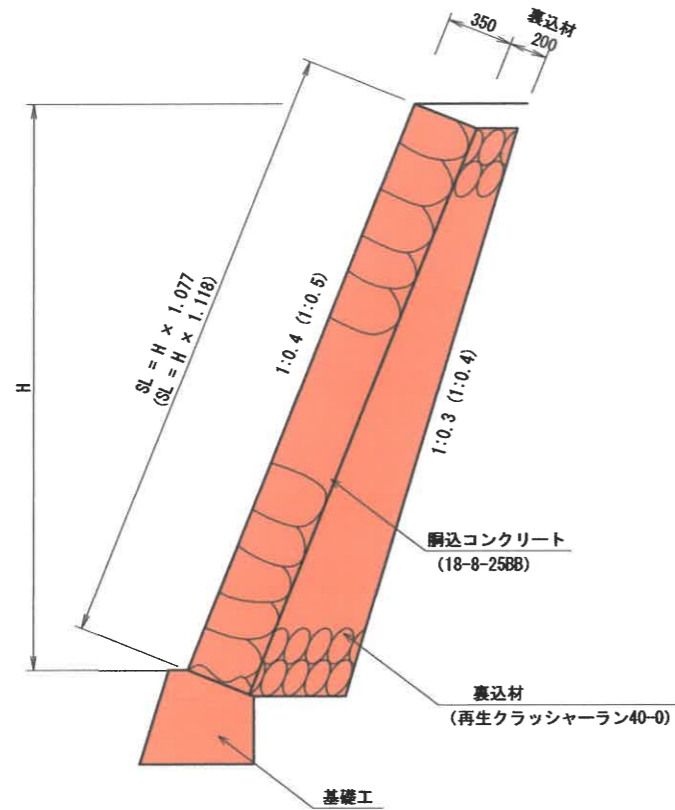
令和5年度 史跡中山道和田峠遺民舎復旧工事			
番号	3/10	平面図	縮尺 図示
長和町和田 和田山園有林1136いり小遊 ほか 史跡中山道(和田峠道)その2			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
長 和 町			
令和 4年3月30日時点			
現場制約事項			
有り <input type="checkbox"/>			
関係地権者等との調整事項	有り <input type="checkbox"/>		

構造図

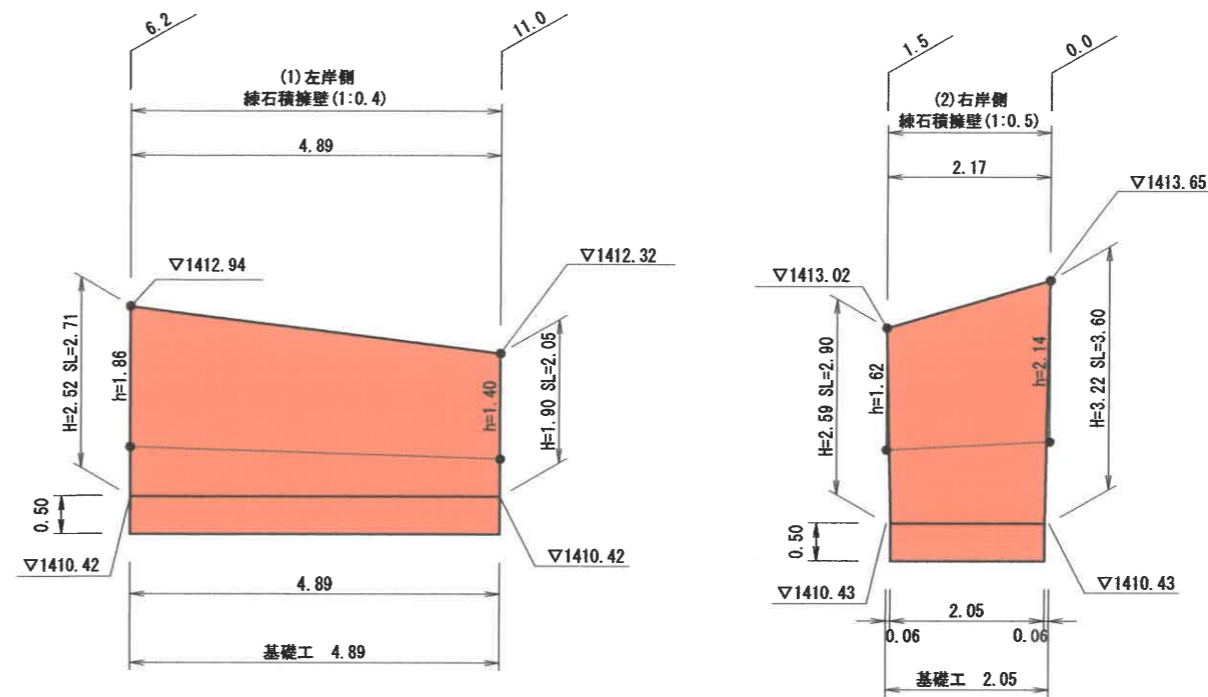
⑩和田川の歴史の道13号橋

標準断面図 S=1:20

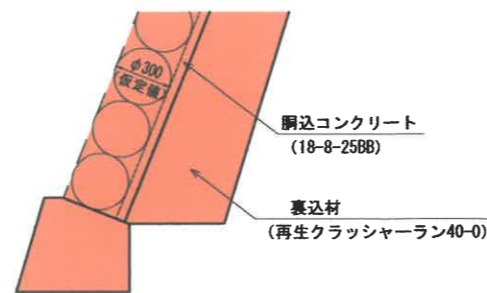
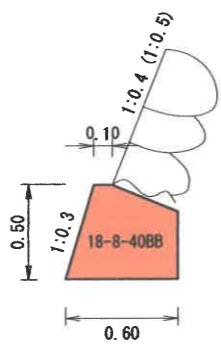
()は擁壁前面勾配1:0.5の場合



練石積擁壁展開図 S=1:50



基礎工 S=1:20



名称	規格	単位	数量	
			1:0.4	1:0.5
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.24	0.23
型枠	1:3	m ²	0.88	0.85

径 (m)	D=0.3 (仮定モデル)
1個当たりの体積 (m ³)	$V = \pi \times D^3 / 6 = 0.014$
1個当たりの占有面積 (m ²)	$A = (\sqrt{3}/2) \times D^2 = 0.779$
10m ² 当たり使用石材 (個)	$N = 10/A = 128$
胴込コンクリート (m ³ /10m ²)	$[(D*10) - (V*N)] / 2 + 0.05 * 10 = 1.10$

練石積擁壁	石材	胴込コンクリート
平均斜長 × 平均延長		
(1) $(2.71 + 2.05) / 2 \times (4.89 + 4.89) / 2 =$	$128 \times 11.64 / 10 =$	$1.10 \times 11.64 / 10 =$
11.64 m ²	149 個	1.28 m ³
(2) $(2.90 + 3.60) / 2 \times (2.17 + 2.05) / 2 =$	$128 \times 6.86 / 10 =$	$1.10 \times 6.86 / 10 =$
6.86 m ²	88 個	0.75 m ³
18.50 m ²	237 個	2.03 m ³

足場工
平均高 × 平均延長 × 法長係数
(1)
(2)

1 式

裏込材		平均面積 × 平均延長
(1) 左岸側 練石積擁壁 (1:0.4)		$(0.87 + 0.59) / 2 \times (4.89 + 4.89) / 2 =$
測点	面積 (プランメータ計測)	3.57 m ³
6.2	0.87	
11.0	0.59	
(2) 右岸側 練石積擁壁 (1:0.5)		$(0.92 + 1.25) / 2 \times (2.17 + 2.05) / 2 =$
測点	面積 (プランメータ計測)	2.29 m ³
1.5	0.92	
0.0	1.25	

実施図

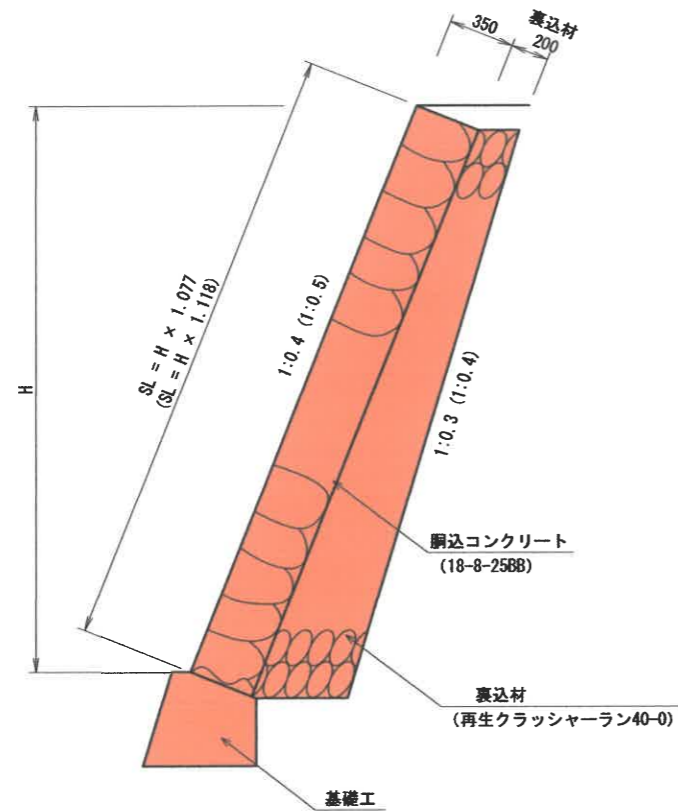
令和5年度 史跡中山道和田峠遺跡復旧工事			
番号	4/10	構造展開図	縮尺 図示
長和町和田 和田山園有林11361林小遊 ほか			
史跡中山道 (和田峠道) その2			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
長 和 町			

構造図

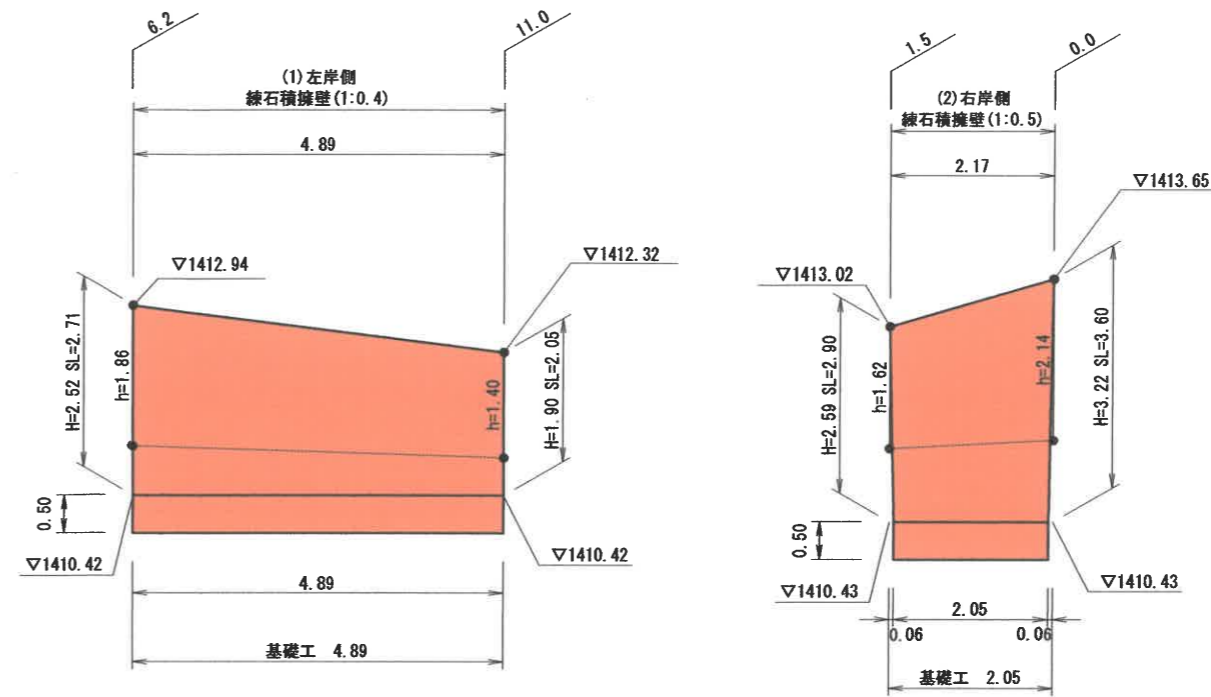
⑩和田川の歴史の道13号橋

標準断面図 S=1:20

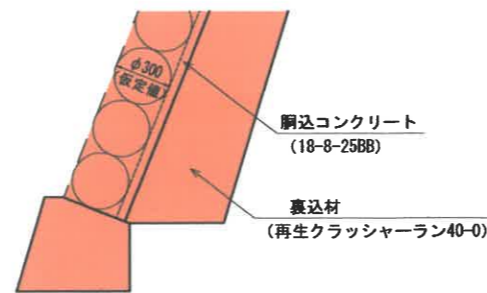
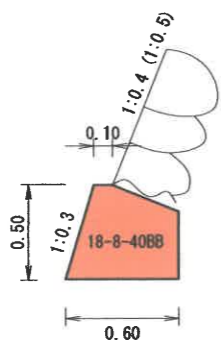
()は擁壁前面勾配1:0.5の場合



練石積擁壁展開図 S=1:50



基礎工 S=1:20



名称	規格	単位	数量	
			1:0.4	1:0.5
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.24	0.23
型枠	1:3	m ²	0.88	0.85

径 (m)	D=0.3 (仮定モデル)
1個当たりの体積 (m ³)	$V = \pi \times D^2 / 6 = 0.014$
1個当たりの占有面積 (m ²)	$A = (\sqrt{3}/2) \times D^2 = 0.779$
10m ² 当たり使用石材 (個)	$N = 10/A = 128$
胴込コンクリート (m ³ /10m ²)	$[(D \times 10) - (V \times N)] / 2 + 0.05 \times 10 = 1.10$

練石積擁壁	石材	胴込コンクリート
平均斜長 × 平均延長		
(1) $(2.71 + 2.05) / 2 \times (4.89 + 4.89) / 2 =$	11.64 m ²	128 × 11.64 / 10 = 149 個
(2) $(2.90 + 3.60) / 2 \times (2.17 + 2.05) / 2 =$	6.86 m ²	128 × 6.86 / 10 = 88 個
	18.50 m ²	237 個
		1.10 × 11.64 / 10 = 1.28 m ³
		1.10 × 6.86 / 10 = 0.75 m ³
		2.03 m ³

足場工
平均高 × 平均延長 × 法長係数
(1)
(2)

1 式

裏込材

(1) 左岸側 練石積擁壁 (1:0.4)

測点	面積 (プランメータ計測)
6.2	0.87
11.0	0.59

平均面積 × 平均延長
 $(0.87 + 0.59) / 2 \times (4.89 + 4.89) / 2 = 3.57 \text{ m}^3$

(2) 右岸側 練石積擁壁 (1:0.5)

測点	面積 (プランメータ計測)
1.5	0.92
0.0	1.25

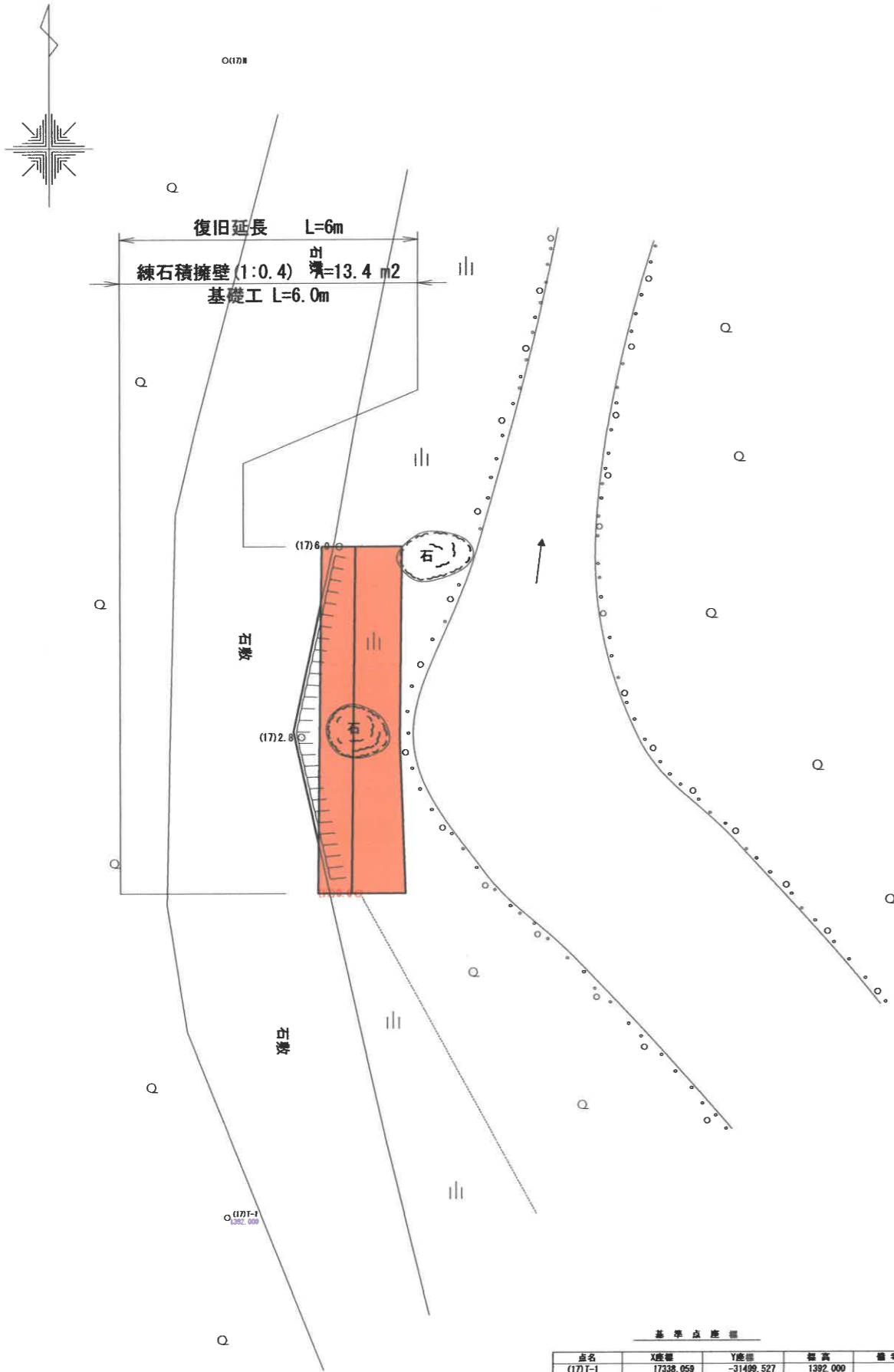
平均面積 × 平均延長
 $(0.92 + 1.25) / 2 \times (2.17 + 2.05) / 2 = 2.29 \text{ m}^3$

実施図

令和5年度 史跡中山道和田峠遺跡発掘工事			
番号	4/10	構造展開図	縮尺 図示
長和町和田 和田山園有林11361林小班 ほか 史跡中山道 (和田峠遺跡) その2			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
長 和 町			

⑰和田川左岸の石畳法面

平面図 S=1:50



横断面 S=1/50



土工数量

掘削	C1	: 1.0
床掘	C2	: 2.3
盛土	B1	: 0.1
埋戻し	B2	: 1.3
法面整形	W1	: 2.2
切土法面整形	W2	: -
盛土法面整形	W3	: -

土工数量

掘削	C1	: 0.9
床掘	C2	: 1.9
盛土	B1	: 0.2
埋戻し	B2	: 1.0
法面整形	W1	: 1.7
切土法面整形	W2	: -
盛土法面整形	W3	: -

土工数量

掘削	C1	: 1.3
床掘	C2	: 2.7
盛土	B1	: 0.1
埋戻し	B2	: 1.6
法面整形	W1	: 2.5
切土法面整形	W2	: -
盛土法面整形	W3	: -

基準点座標

点名	X座標	Y座標	標高	備考
(17)F-1	17338.059	-31499.527	1392.000	
(17)F-2	17353.888	-31499.850	1390.732	
(17)0.0	17343.655	-31497.248	1391.360	
(17)2.8	17346.359	-31498.223	1391.242	
(17)6.0	17349.654	-31497.567	1391.123	

実施図

令和5年度
史跡中山道和田峠遺跡復旧工事

図名 5/10 平面図 縮尺 図示

長和町 和田山園有林1136い林小基 ほか
史跡中山道(和田峠道) その2

設計会社
測量会社
調査会社

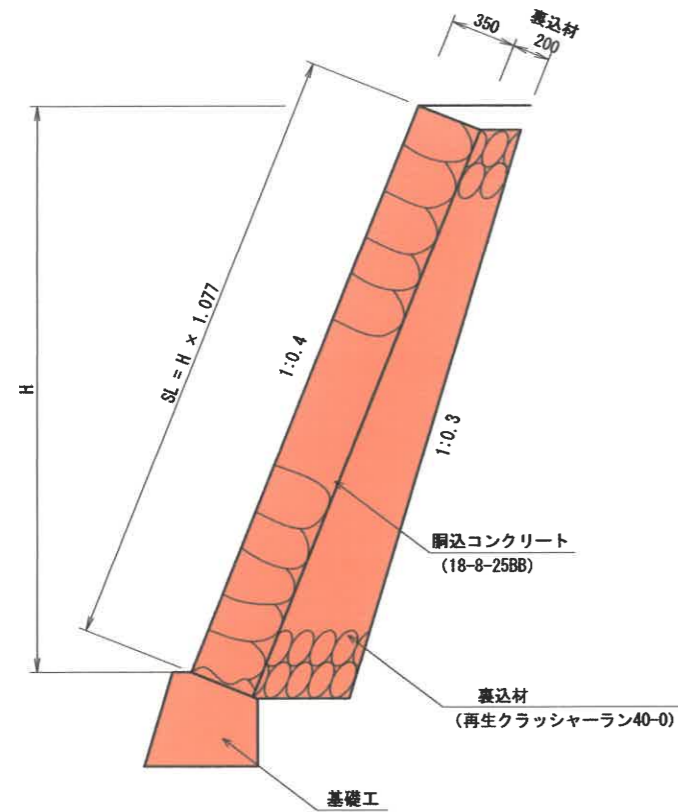
長和町
令和5年3月30日

現場制約事項
有り 無し

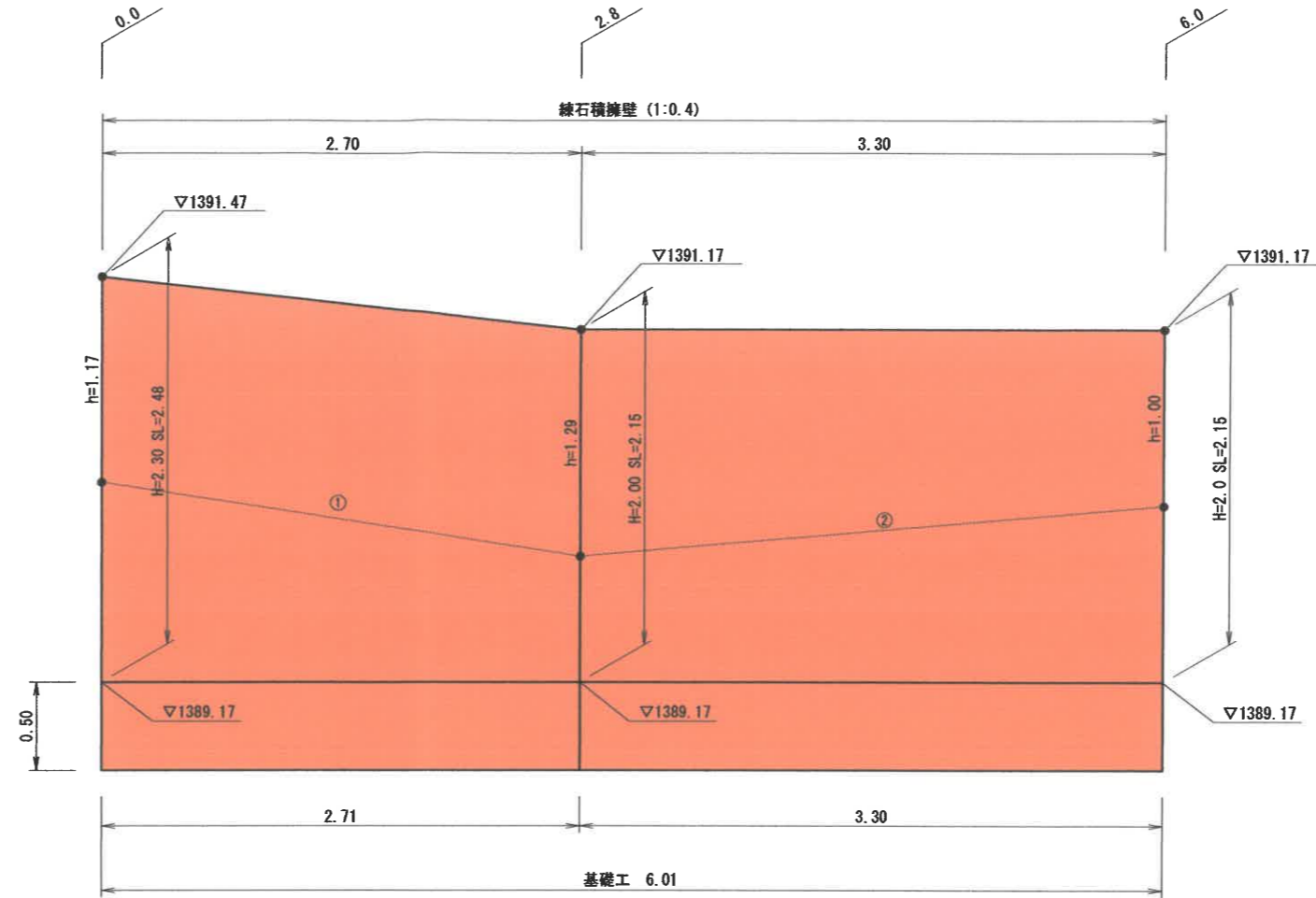
関係地権者等との調整事項
有り 無し

⑰和田川左岸の石畳法面

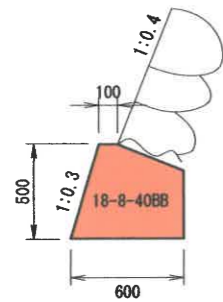
標準断面図 S=1:20



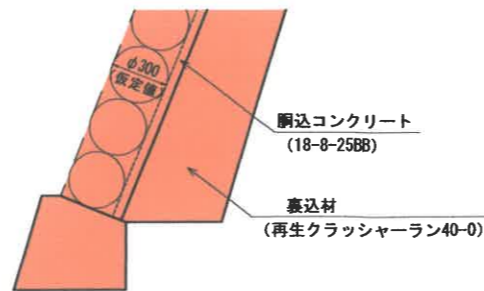
練石積擁壁展開図 S=1:20



基礎工 S=1:20



材 料 表 1.0m当り			
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB	m3	0.24
型枠		m2	0.88



径 (m)	D=0.3 (仮定モデル)
1個当たりの体積 (m3)	$V = \pi \times D^3 / 6 = 0.014$
1個当たりの占有面積 (m2)	$A = (\sqrt{3}/2) \times D^2 = 0.779$
10m2当たり使用石材 (個)	$N = 10/A = 128$
胴込コンクリート (m3/10m2)	$[(D \times 10) - (V \times N)] / 2 + 0.05 \times 10 = 1.10$

練石積擁壁	石材	胴込コンクリート
平均斜長 × 平均延長		
① $(2.48 + 2.15) / 2 \times (2.70 + 2.71) / 2 = 6.26 \text{ m}^2$	$128 \times 6.26 / 10 = 81 \text{ 個}$	$1.10 \times 6.26 / 10 = 0.69 \text{ m}^3$
② $(2.15 + 2.15) / 2 \times (3.30 + 3.30) / 2 = 7.10 \text{ m}^2$	$128 \times 7.10 / 10 = 91 \text{ 個}$	$1.10 \times 7.10 / 10 = 0.78 \text{ m}^3$
	13.36 m ²	1.47 m ³

足場工
平均高 × 平均延長 × 法長係数
①
②

1 式

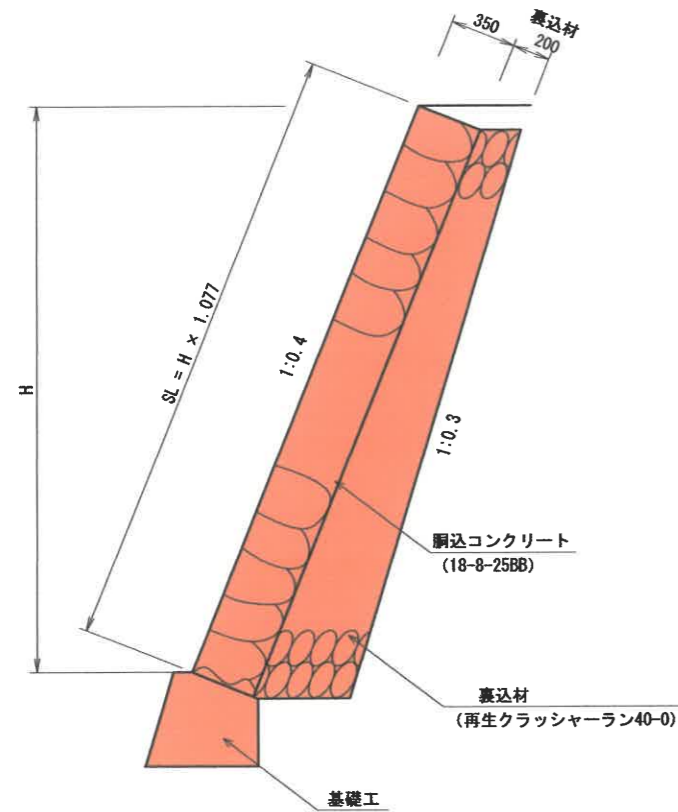
測点	面積 (プランメータ計測)	平均面積 × 平均延長
0.0	0.79	① $(0.79 + 0.66) / 2 \times (2.70 + 2.71) / 2 = 1.96 \text{ m}^3$
2.7	0.66	② $(0.66 + 0.66) / 2 \times (3.30 + 3.30) / 2 = 2.18 \text{ m}^3$
6.0	0.66	
		4.14 m ³

実施図

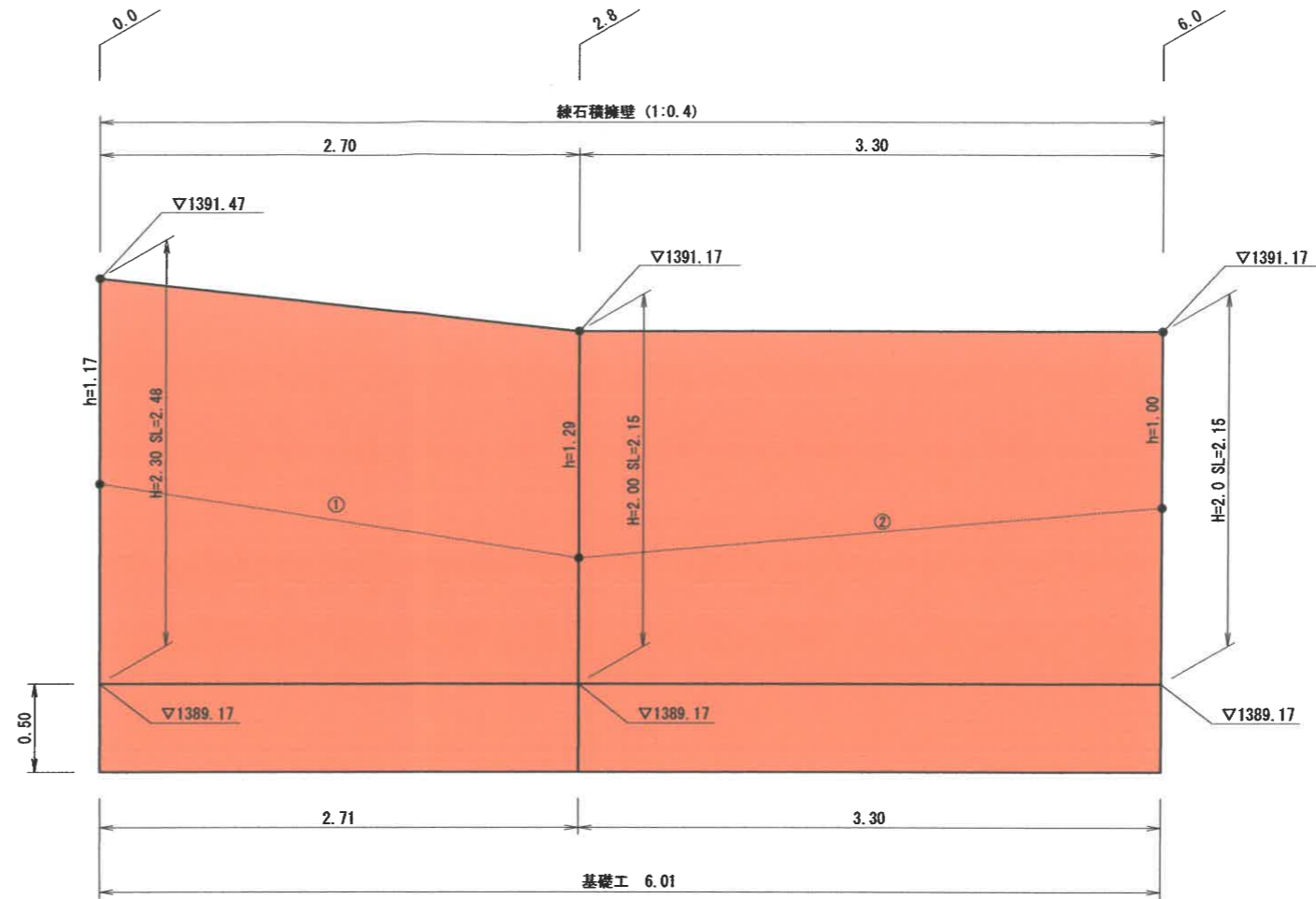
令和5年度 史跡中山道和田峠遺跡復旧工事			
番付	6/10	構造展開図	縮尺 図示
長和町和田 和田山園有林11361林小班 ほか			
史跡中山道 (和田峠道) その2			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
長 和 町			

⑰和田川左岸の石置法面

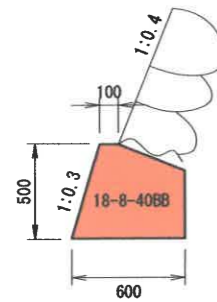
標準断面図 S=1:20



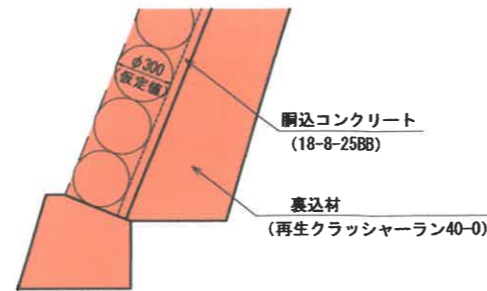
練石積擁壁展開図 S=1:20



基礎工 S=1:20



材 料 表		1.0m当り	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.24
型枠		m ²	0.88



径 (m)	D=0.3 (仮定モデル)
1個当たりの体積 (m ³)	$V = \pi \times D^3 / 6 = 0.014$
1個当たりの占有面積 (m ²)	$A = (\sqrt{3}/2) \times D^2 = 0.779$
10m ² 当たり使用石材 (個)	$N = 10/A = 128$
鋼込コンクリート (m ³ /10m ²)	$[(D \times 10) - (V \times N)] / 2 + 0.05 \times 10 = 1.10$

練石積擁壁	石材	鋼込コンクリート
平均斜長 × 平均延長		
① (2.48+2.15)/2 × (2.70+2.71)/2 = 6.26 m ²	128 × 6.26/10 = 81 個	1.10 × 6.26/10 = 0.69 m ³
② (2.15+2.15)/2 × (3.30+3.30)/2 = 7.10 m ²	128 × 7.10/10 = 91 個	1.10 × 7.10/10 = 0.78 m ³
	13.36 m ²	1.47 m ³

足場工
平均高 × 平均延長 × 法長係数
①
②

1 式

測点	面積 (プランメータ計測)	平均面積 × 平均延長
0.0	0.79	① (0.79+0.66)/2 × (2.70+2.71)/2 = 1.96 m ³
2.7	0.66	② (0.66+0.66)/2 × (3.30+3.30)/2 = 2.18 m ³
6.0	0.66	
		4.14 m ³

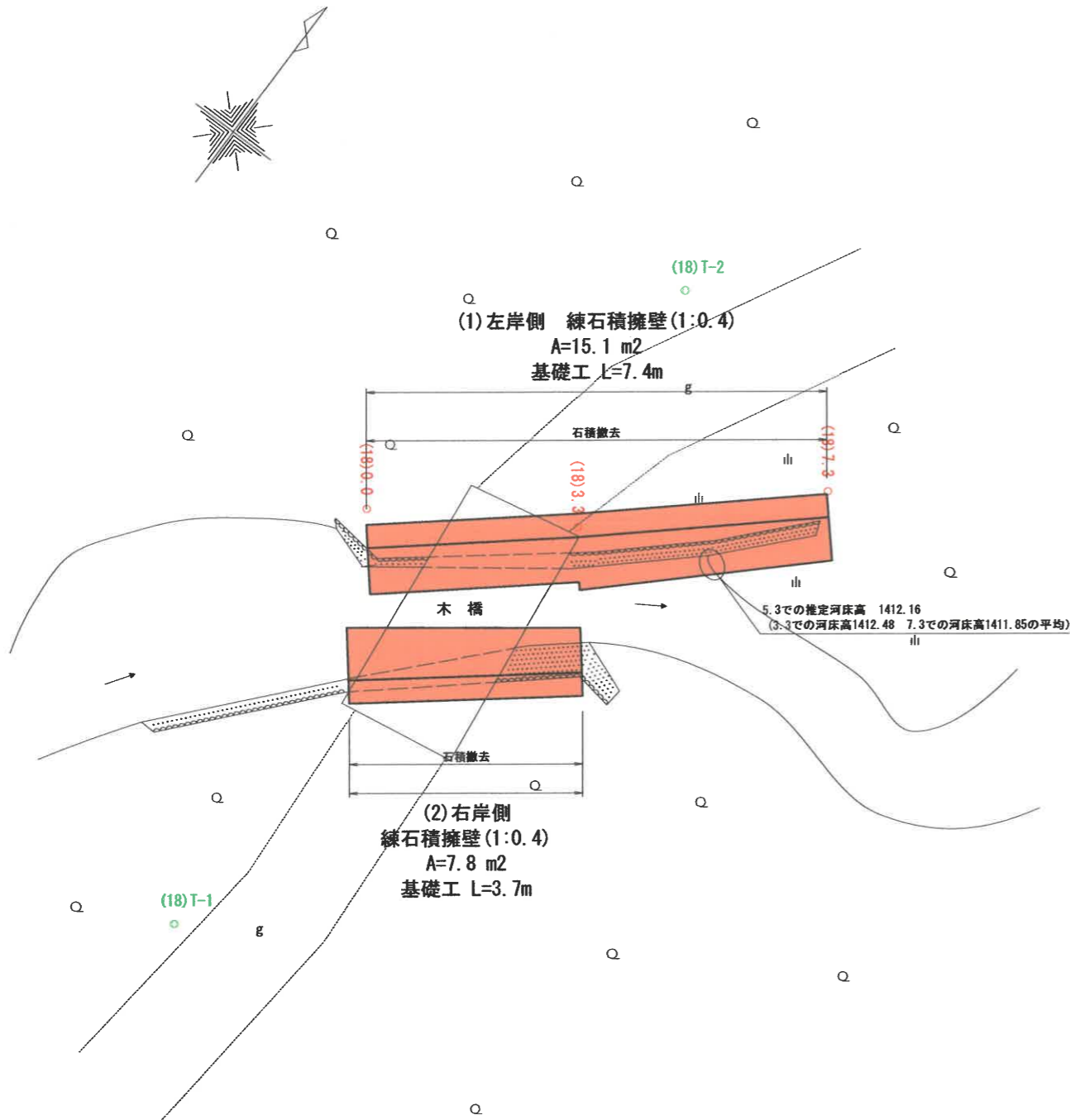
実施図

令和5年度 史跡中山道和田峠遺跡復旧工事			
番号	6/10	構造展開図	縮尺 図示
長和町和田 和田山園有林1136い林小遊 ほか 史跡中山道 (和田峠遺) その2			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
長 和 町			

平面図 S=1:50

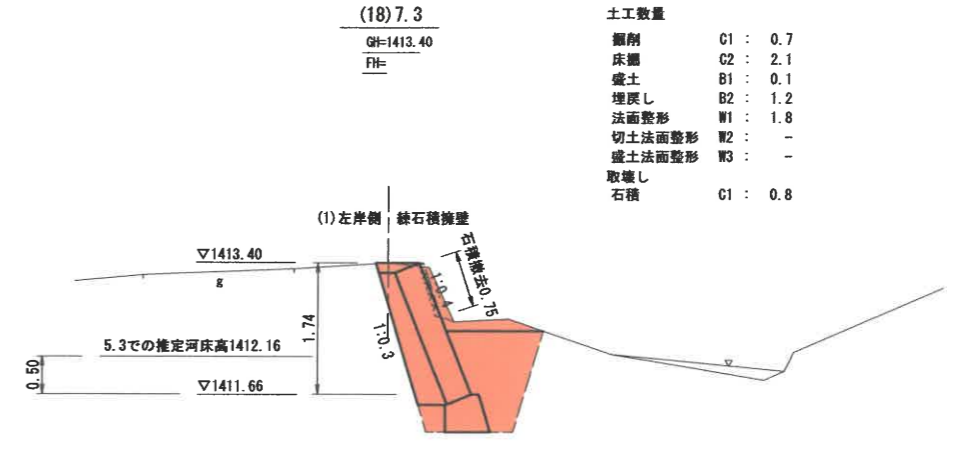
⑱シナノキ沢の歴史の道14号橋

横断面 S=1/50



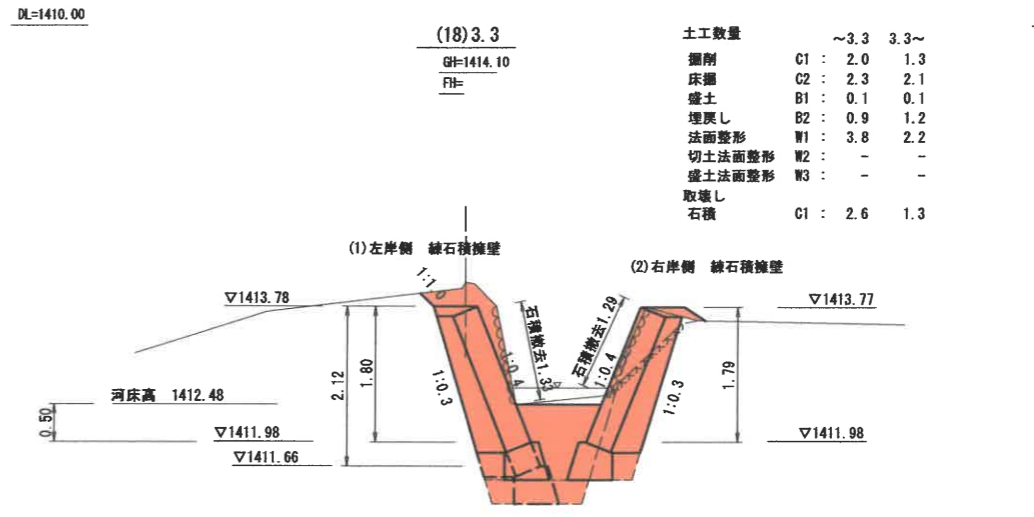
基準点座標

点名	X座標	Y座標	標高	備考
(18)T-1	17202.622	-31546.505	1415.000	
(18)T-2	17215.648	-31546.058	1413.691	
(18)0.0	17209.794	-31548.035	1414.130	
(18)3.3	17211.588	-31545.152	1414.287	
(18)7.3	17214.449	-31542.294	1413.545	



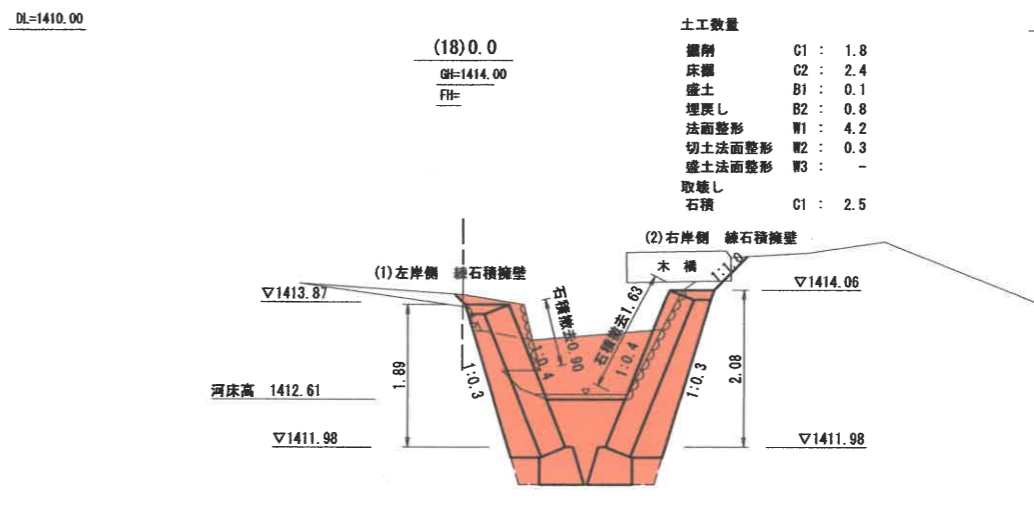
土工数量

掘削	C1	0.7
床掘	G2	2.1
盛土	B1	0.1
埋戻し	B2	1.2
法面整形	W1	1.8
切土法面整形	W2	-
盛土法面整形	W3	-
取壊し		
石積	C1	0.8



土工数量

掘削	C1	~3.3	3.3~
床掘	G2	2.0	1.3
盛土	B1	2.3	2.1
埋戻し	B2	0.1	0.1
法面整形	W1	0.9	1.2
切土法面整形	W2	3.8	2.2
盛土法面整形	W3	-	-
取壊し			
石積	C1	2.6	1.3



土工数量

掘削	C1	1.8
床掘	G2	2.4
盛土	B1	0.1
埋戻し	B2	0.8
法面整形	W1	4.2
切土法面整形	W2	0.3
盛土法面整形	W3	-
取壊し		
石積	C1	2.5

実施図

令和5年度
史跡中山道和田峠遺跡整備工事

番号 7/10 平面図 縮尺 図示

長和町和田 和田山園有林1136い特小遊 ほか
史跡中山道(和田峠道)その2

設計会社
測量会社
調査会社

長和町
令和5年9月30日時点

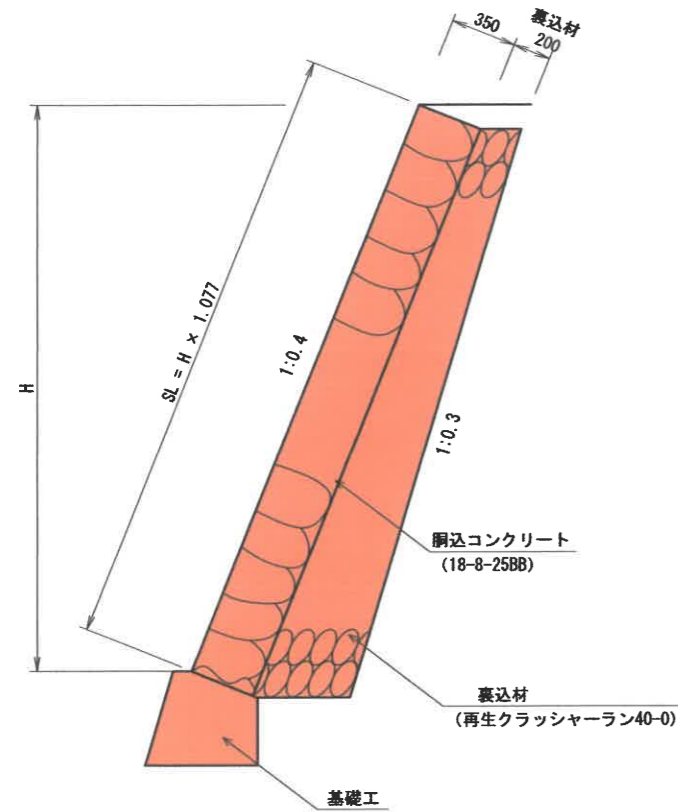
現場制約事項
有り (無)

関係地権者等との調整事項
有り (無)

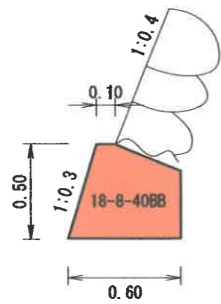
構造図

⑩シナノキ沢の歴史の道14号橋

標準断面図 S=1:20

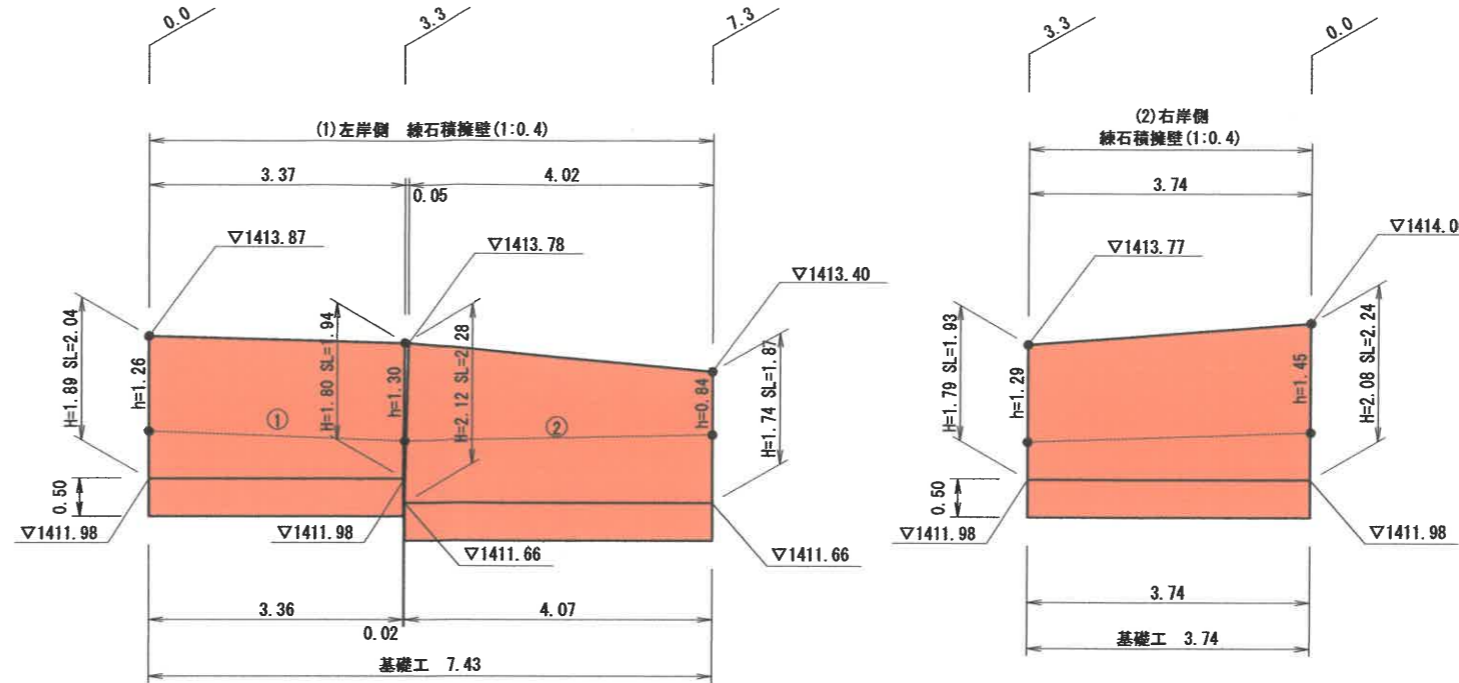


基礎工 S=1:20



名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.24
型枠		m ²	0.88

練石積擁壁展開図 S=1:50



練石積擁壁 (1)左岸側 練石積擁壁(1:0.4)	石材	胴込コンクリート
平均斜長×平均延長		
① (2.04+1.94)/2 × (3.37+3.36)/2 = 6.70 m ²	128 × 6.70/10 = 86 個	1.10 × 6.70/10 = 0.74 m ³
② (2.28+1.87)/2 × (4.02+4.07)/2 = 8.39 m ²	128 × 8.39/10 = 108 個	1.10 × 8.39/10 = 0.93 m ³
15.09 m ²	194 個	1.67 m ³

足場工
平均高×平均延長×法長係数

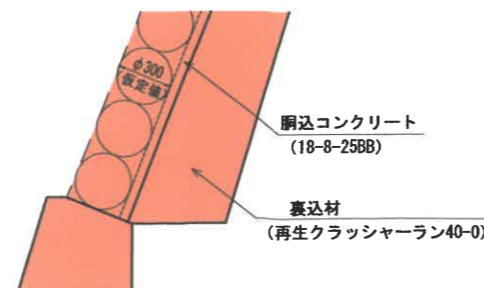
② 1 式

裏込材

(1)左岸側 練石積擁壁(1:0.4)

測点	面積 (プランメータ計測)
0.0	0.59
3.3	0.55
3.3	0.69
7.3	0.53

平均面積×平均延長
① (0.59+0.55)/2 × (3.37+3.36)/2 = 1.92 m³
② (0.69+0.53)/2 × (4.02+4.07)/2 = 2.47 m³
4.39 m³



石材	径 (m)	D=0.3 (仮定モデル)
1個当たりの体積 (m ³)		V = π × D ³ / 6 = 0.014
1個当たりの占有面積 (m ²)		A = (√3/2) × D ² = 0.779
10m ² 当たり使用石材 (個)		N = 10/A = 128
胴込コンクリート (m ³ /10m ²)		[(D*10) - (V*N)] / 2 + 0.05*10 = 1.10

練石積擁壁 (2)右岸側 練石積擁壁(1:0.4)	石材	胴込コンクリート
平均斜長×平均延長		
(1.93+2.24)/2 × (3.74+3.74)/2 = 7.80 m ²	128 × 7.80/10 = 100 個	1.10 × 7.80/10 = 0.86 m ³

裏込材

(2)右岸側 練石積擁壁(1:0.4)

測点	面積 (プランメータ計測)
3.3	0.55
0.0	0.67

平均面積×平均延長
(0.55+0.67)/2 × (3.74+3.74)/2 = 2.28 m³

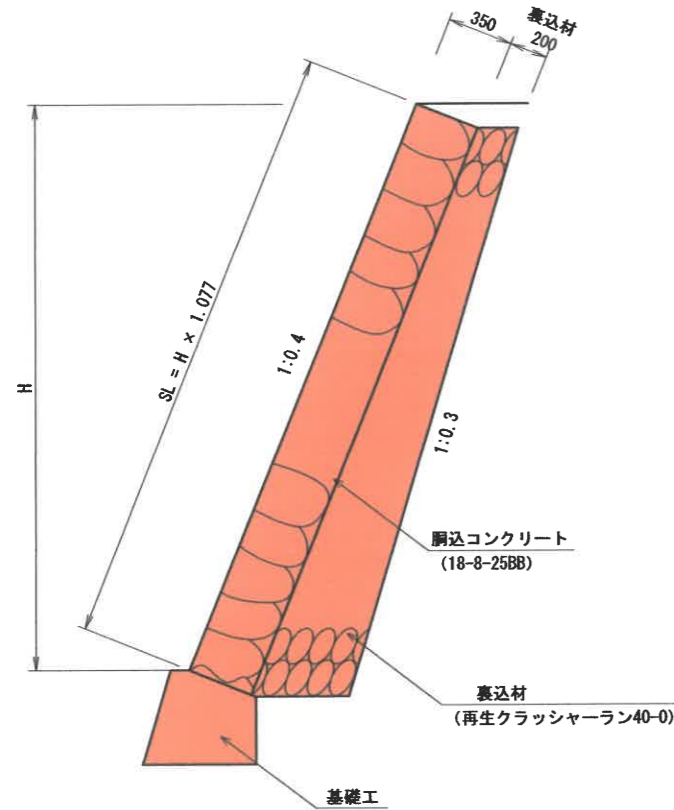
実施図

令和5年度 史跡中山道和田峠遺跡復旧工事			
番号	8/10	構造展開図	縮尺 図示
長和町和田 和田山開有林11361林小班 ほか 史跡中山道(和田峠道) その2			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
長 和 町			

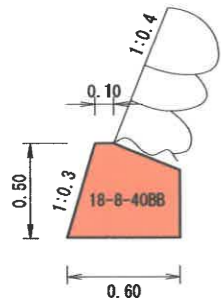
構造図

⑬シナノキ沢の歴史の道14号橋

標準断面図 S=1:20

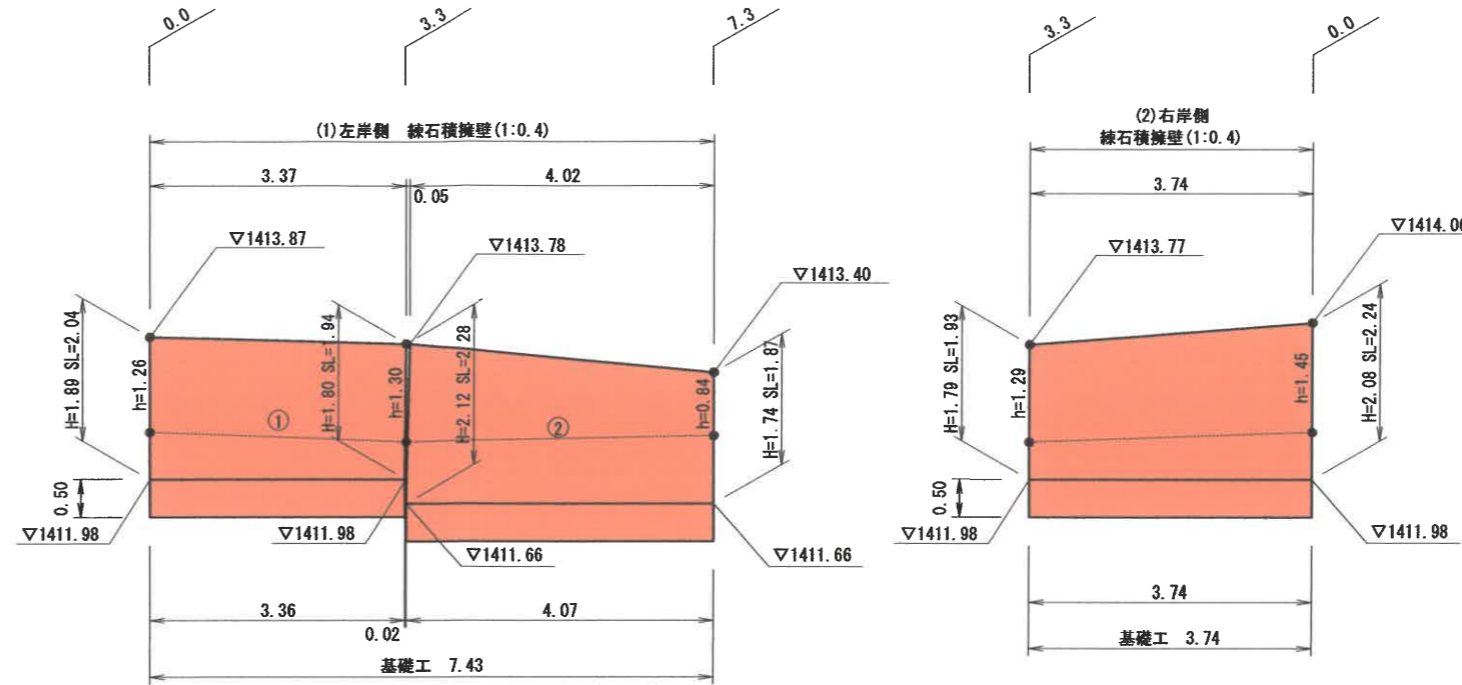


基礎工 S=1:20



材料表 1.0m当り			
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.24
型枠		m ²	0.88

練石積擁壁展開図 S=1:50



練石積擁壁 (1)左岸側 練石積擁壁(1:0.4)	石材	胴込コンクリート
平均斜長×平均延長		
① (2.04+1.94)/2 × (3.37+3.36)/2= 6.70 m ²	128 × 6.70/10= 86 個	1.10 × 6.70/10= 0.74 m ³
② (2.28+1.87)/2 × (4.02+4.07)/2= 8.39 m ²	128 × 8.39/10= 108 個	1.10 × 8.39/10= 0.93 m ³
15.09 m ²	194 個	1.67 m ³

足場工

平均高×平均延長×法長係数

②

1 式

裏込材

(1)左岸側 練石積擁壁(1:0.4)

測点	面積 (プランメータ計測)
0.0	0.59
3.3	0.55
3.3	0.69
7.3	0.53

平均面積×平均延長	
① (0.59+0.55)/2 × (3.37+3.36)/2=	1.92 m ³
② (0.69+0.53)/2 × (4.02+4.07)/2=	2.47 m ³
	4.39 m ³

練石積擁壁 (2)右岸側 練石積擁壁(1:0.4)

石材

胴込コンクリート

平均斜長×平均延長

$(1.93+2.24)/2 \times (3.74+3.74)/2 = 7.80 \text{ m}^2$ $128 \times 7.80/10 = 100 \text{ 個}$ $1.10 \times 7.80/10 = 0.86 \text{ m}^3$

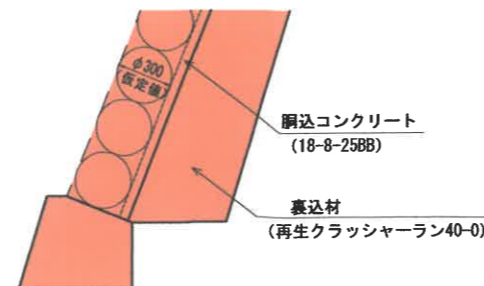
裏込材

(2)右岸側 練石積擁壁(1:0.4)

測点	面積 (プランメータ計測)
3.3	0.55
0.0	0.67

平均面積×平均延長

$(0.55+0.67)/2 \times (3.74+3.74)/2 = 2.28 \text{ m}^3$



径 (m)	D=0.3 (仮定モデル)
1個当たりの体積 (m ³)	$V = \pi \times D^3 / 6 = 0.014$
1個当たりの占有面積 (m ²)	$A = (\sqrt{3}/2) \times D^2 = 0.779$
10m ² 当たり使用石材 (個)	$N = 10/A = 128$
胴込コンクリート (m ³ /10m ²)	$[(D \times 10) - (V \times N)] / 2 + 0.05 \times 10 = 1.10$

実施図

令和5年度 史跡中山道和田峠遺跡復旧工事			
番別	8/10	構造展開図	縮尺 図示
長和町和田 和田山園有林11361林小遊 ほか 史跡中山道(和田峠道) その2			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
長 和 町			